



横田高校の卒業生で地元で活躍する20代から30代の社会人が、在校生に仕事や夢などについて直接語る「横田高校進路ガイダンス キミチャレ」が、7月15日に開催され、3年生63人が参加しました。「キミチャレ」とは、「キミにはチャレンジしてほしい」の意味で、生徒自身が将来に向けての明確なビジョンを持ち、高校卒業後

7/15

横田高校進路ガイダンスキミチャレ



の進路開拓意識を高めるため毎年開催されています。この日は町内で働く若者8人が講師として参加しました。講師たちは、自分の仕事の内容やその仕事に就いたきっかけ、また社会人としての経験から生徒へのアドバイスなど、それぞれ熱心に語っていました。



町民に準優勝を報告 (役場横田庁舎前)

全国高等学校総合体育大会ホッケー競技

横田高校男子ホッケー部

見事な準優勝



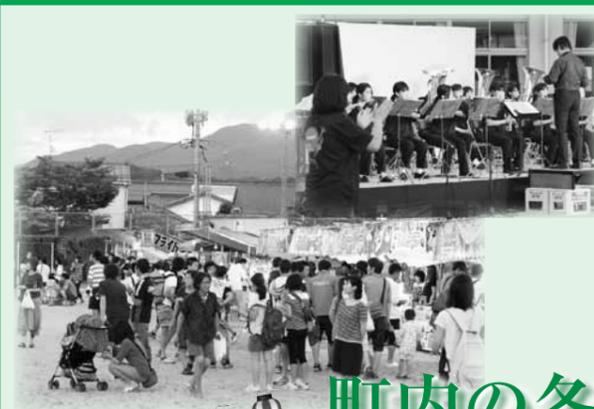
▲決勝のSO戦で相手ゴールに攻め込む野原選手 (左)

8月1日から5日までの日程で、京都府で開催された平成27年度全国高等学校総合体育大会ホッケー競技で、横田高校男子ホッケー部が準優勝に輝きました。決勝戦は滋賀県の伊吹高校との対戦となり、前半27分に先制を許す展開となりましたが、その後互いに同点に追いつき、そのまま互いに譲らず、シュートアウト(SO)戦となりました。SO戦では惜しくも敗れましたが、チーム一丸となつて勝ち取った準優勝でした。

<大会結果>

第1試合	5 - 2	伊万里商業(佐賀)
第2試合	4 - 0	阿南工業(徳島)
準々決勝	2 - 2	総合学園高校(岐阜)
	(SO1-0)	
準決勝	2 - 1	山梨学院大付属(山梨)
決勝	1 - 1	伊吹高校(滋賀)
	(SO3-4)	

8月6日には、役場横田庁舎と三成小学校で準優勝報告会が行われ、保護者や多くの町民が駆けつけ選手の活躍を称えました。伊藤直登監督から「選手一人ひとりが最後まで集中力を切らさず力を出し切り、準優勝という結果につながった。今大会は優勝できなかったが、10月の国体では優勝を目指したい」と喜びと次の大会への意気込みを述べました。また、森田陽介主将は「相手に競り負けないという気持ちで戦った。決勝でも勝ち切りたかった。」と悔しさをにじませました。



よこた大市夏祭り

横田小学校をメイン会場に、よこた大市夏祭りが7月19日に開催されました。17日から手作りの一式飾りや生花展が各所で行われ、19日の夜には横田中学校吹奏楽部や、東京で活躍するアーバンサクソフォンカルテットらが演奏し会場を沸かせました。

町内の各地区で

夏祭り



三成えびす祭り

7月20日には三成本町通りを会場に、三成えびす祭りが開催されました。また今年も、短歌で詠む「恋いうた」の優秀賞の発表があり、応募総数654通の中から、最優秀賞の奥出雲町長賞には「君を待つ時間がすこし好きになるビニールの傘に透き通る雨」が選ばれました。